

## 学 習 計 画

学期	レポート関係			スクーリング関係				
	回	学習範囲	提出期限	実施日	回	学習範囲 (予定)	認定 時間	
前 期	1	L 1・L 2	5月25日	4月21日・22日	在校生 S 1	オリエンテー ション・L 1	1	
				5月12日・13日	新入生 S 1		1	
	2	L 3・L 4	6月5日	5月19日・20日	S 2	L 2～L 4	2	
	3	L 5・L 6	6月10日	5月26日・27日	S 3	L 5・L 6	1	
	4	L 7～L 9	6月25日	6月9日・10日	S 4	L 7～L 10	2	
	5	L 10～L 12	7月5日	6月23日・24日	S 5	L 11・L 12	1	
	6	L 13～L 15	7月20日	7月7日・8日	S 6	L 13～L 15	2	
				7月14日・15日	S 7	総復習	1	
	集中スクーリングは、総復習をします。 集中スクーリングは、2日間違う内容で実施しますので、 2日間(4時間分)出席しても構いません。 但し、一日2回は出席できません。					集中 S 1	7月28日	2
						集中 S 4	8月1日	2
<b>テスト</b> ・テスト範囲は、レポート第1回～第5回です。 ・レポートから出題しますので、レポートをまんべんなく復習しておきましょう。								

### 受講にあたっての心構え

- ①語学学習には辞書が必要不可欠です。自学自習にあたって、必ず辞書を利用して学習を進めましょう。「英語Ⅰ」「オーラル・コミュニケーションⅠ」さらに「英語Ⅱ」へと進むことを考えると、最初から辞書を引いて学習する習慣を身につけ、最大限に活用しましょう。
- ②どの国の言葉もその言葉を話す人々の歴史や文化を背負っています。そのことを念頭に置き、謙虚な気持ちで学習しましょう。
- ③日本語との発想の違いや類似点などにも目を向けながら、興味を持って学習しましょう。
- ④語学修得の秘訣は、途中であきらめず、コツコツ努力を続けることです。
- ⑤上記①の通り、この講座はあくまでも、「英語Ⅰ」等にスムーズに入っていくための講座ですから、単位を修得するだけでなく、しっかりと内容を理解し、覚えましょう。
- ⑥スクーリングではポイントの説明を中心にしますが、これだけでは十分な修得はできません。各自が参考書・NHKの講座等を利用して、常に自学・自習を心がけてください。